リスクマネジメント

基本的な考え方

三社電機グループは、事業に伴うリスクを明確化し、発生防止と影響の最小化に向けた管理体制を整備しています。リスク顕在化時には、経営トップの指揮のもと迅速に対応します。

代表取締役社長を委員長とする「内部統制委員会」を設置し、主要リスクの管理・対応を統括するとともに、必要に応じて取締役会へ報告しています。同委員会は各部門およびグループ会社と連携し、リスクの洗い出し、評価、対策の実行を推進しています。

また、「全社品質会議」「環境管理推進委員会」「輸出管理委員会」「情報セキュリティ委員会」「安全衛生委員会」「人材開発会議」を設置し、分野別のリスク管理を行っています。

これらの取り組みにより、事業継続性の確保と企業価値の安定的な向上を図っています。

リスク管理体制
https://www.sansha.co.jp/csr/risk-management.html

リスク情報
https://www.sansha.co.jp/ir/business-risks.html

コンプライアンス

基本的な考え方

当社グループは、コンプライアンスを重視した企業風土の醸成を企業価値向上の基盤と位置付けています。「三社電機グループ行動憲章」を定め、全役職員が日常業務において遵守するとともに、各種方針・規程の整備と周知徹底を図っています。

これらの取り組みにより、健全な事業運営と社会からの信頼確保につなげています。

行動憲章
https://www.sansha.co.jp/csr/compliance.html

教育・啓発

当社グループは、コンプライアンスを経営基盤と位置付け、継続的な教育・啓発を実施しています。全社員を対象に、集合研修やeラーニング、階層別・テーマ別研修を行い、法令改正や社会的要請にも対応しています。

2025年度研修受講者数（延べ）

コンプライアンス	1,043名	インサイダー取引規制	907名
ビジネスと人権	927名		
専門教育（輸出管理・著作権等）	685名	品質管理	871名

※ 対象：株式会社三社電機製作所および国内グループ会社

贈収賄防止の取り組み

グローバル展開の進展に伴い、贈収賄は企業の信頼性を損なう重大なリスクであると認識しています。当社グループは「贈収賄等腐敗行為防止に関する基本方針」を策定し、国内外の役職員に対して周知・遵守を徹底しています。

三社電機グループ贈収賄等腐敗行為防止に関する基本方針
https://www.sansha.co.jp/csr/compliance.html

内部通報制度

当社グループでは、公益通報者保護法に基づき、社内外にコンプライアンス相談・通報窓口を設置しています。外部の法律事務所（英語・中国語対応）も利用可能とし、周知や研修を通じて利用しやすい環境を整備するとともに、通報者保護を徹底しています。

2025年度は、制度の周知・理解の進展により、相談・通報件数は前年度から増加しました。寄せられた事案については、事実確認の上、適切に対応しました。

内部通報窓口への相談件数

2023年度：6件 ／ 2024年度：6件 ／ 2025年度：16件

※ 調査や問題がなかったものも含む

安全保障輸出管理

当社グループは、代表取締役社長を最高責任者とする輸出管理体制を構築し、輸出管理委員会のもとで方針決定および運用を統括しています。専門部署を中心に、法令情報の収集・社内展開、取引審査、輸出許可管理、教育を実施しています。

取引審査や出荷前確認はチェックリストにより標準化し、透明性を確保しています。加えて、定期研修やeラーニングを通じて違反リスクの未然防止を図るとともに、国際情勢の変化に対応した体制強化を進めています。

- 内部監査（年1回）
- 対象部門：電源機器事業本部、半導体事業本部、営業本部、諏訪三社電機
- 役員、新入社員、キャリア入社社員、従業員および国内子会社に対する研修（eラーニング）
- 安全保障情勢を踏まえた取引審査および技術管理の強化（輸出者への直接指導〔WEB会議を含む〕を実施）